



### 令和四年度「全国学力・学習状況調査」における桂川町の児童・生徒の状況(その2)

桂川町教育委員会 学校教育課

10月号に引き続き本年度の「全国学力・学習状況調査」(対象：小6・中3)から見える桂川町の児童・生徒の学習状況を報告します。

今回は、児童・生徒質問紙で、福岡県教育委員会が特に注目している項目について、桂川町と全国との比較についてお知らせします。

#### ア 課題の解決に向けた取組

「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」  
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、

小学校 4.5  
中学校 3.2

(※単位は「ポイント」、青字はプラス、赤字はマイナス)

#### イ 家庭での学習習慣の定着

「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか。」  
「1時間以上」勉強している割合は、

小学校 4.1  
中学校 3.7

#### ウ 粘り強く取り組む態度

「算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、あきらめずいろいろな方法を考えますか。」  
「当てはまる」と回答した割合は

小学校 10.7  
中学校 6.1

#### エ ICTを活用した学習状況

(ア)「前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」  
※設問(ア)～(エ)それぞれ、「週1回以上」と回答した割合。

小学校 0.4  
中学校 8.7

(イ)「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」

小学校 7.5  
中学校 2.9

(ウ)「学校で、学級の友達/生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」

小学校 16.1  
中学校 9.8

(エ)「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」

小学校 15.9  
中学校 12.7

(オ)「学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか。」  
「役に立つ」と回答した割合は、

小学校 9.2  
中学校 18.0

授業への取り組み方や態度、家庭での学習習慣の定着については、全国と比較しておおむね良好といえます。

ICT機器の活用については、小学校でやや課題があり、特に、意見交換や発表の場面での使用頻度が低いことが分かりました。

このような状況から、桂川町として、県指定「情報活用能力向上事業」を受け、今後ますます進展する情報化社会に対応できる児童・生徒を育てていこうと考えています。

### 「家庭でのスマホ・ゲーム等のルール作りを」

桂川中学校 校長 石田英喜

今年度実施されました本校3年生の全国学力・学習状況調査の結果は、全国平均を下回る結果となっております。

しかしながら昨年度の福岡県学力検査に比べると今回は、国語で約7ポイント、数学が約13ポイント近く向上するなどの良い傾向も見て取れます。

そのような本校の生徒の特長として、3年生への質問紙調査で明らかになった課題についてお知らせいたします。

《課題は以下の3点です》

① スマートフォンを持っているが「家庭での約束がない」と回答

32.6% (県平均21.9%)

② 一日あたりのスマートフォンを使用している時間が1時間以上と回答

約90% (県平均約82%)

③ 「読む力に課題」特に決められた時間内に根気強く読むという点で課題が明らかになっています。

以上のような実態が明らかになりました。本校の生徒たちが、家や学校外の生活において、ゲームなどに費やす時間がいかに長いかがこの調査からわかってきました。

特に1日にゲームなどを3時間以上すると答えた生徒が39%もいたことは驚きでした。ゲームの時間が、家庭での親子の会話時間や学習・読書時間を奪ってしまっているのではないかと心配です。学力の定着には、「学習したことを何度も思い出す作業」が欠かせません。毎日の学習内容を反復して学習する、明日習うところの教科書を読んでおくなどの繰り返し学習が大切になってきます。

生徒たちの未来のためにも、ぜひともご家庭や地域におかれまして、スマートフォンなどの使用時間に関するルールを決められ適切な使用を心がけていただきたいと思います。ご協力よろしくお願いたします。